

令和3年度 当初予算事業の概要説明書

(兼評価説明書)

1 頁

1. 事務事業の概要

完了 評価対象 行計対象

事務事業名 (中事業)	29614 糖尿病性腎症重症化予防事業			
基本政策	05 生涯活躍・共生社会の実現			
政策	01 健康づくり習慣の定着を進める			
施策	02 疾病の予防と早期発見を促進します			
実施形態	一部委託			
事業期間	単年度	平成29年度～		
要求区分	継続	予算区分	政策	
事業の実施を市に義務づける国の法令				
有無	努力規定あり			
法令名 条項	国民健康保険法第82条			
予算科目	02-040101-010400			
部名	24 暮らし安心部	課名	03 健康課	
課長名	塩崎さゆり	T E L	0795-22-3111	内線 1182

2. 対象・目的・内容

事業概要	診療報酬明細書等（医科入院外、医科入院、DPC、調剤）及び特定健康診査データを活用し、糖尿病性腎症の重症化リスクの高い者（ステージⅡ及びⅢ）に対して、人工透析への移行を防止するため、面談等による予防プログラム（保健指導）を実施する。
事業の対象 (誰・何を)	国民健康保険の加入者で、糖尿病性腎症の重症化リスク（ステージⅡ及びⅢ）の高い者
事業の目的 (どういう状態にするために)	糖尿病性腎症の重症化を予防し、人工透析への移行を防止する。
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	診療報酬明細書等（医科入院外、医科入院、DPC、調剤）及び特定健康診査データを紐づけリスト化し、対象者を抽出する。対象者に対して、重症化プログラムへの参加勧奨を行い、希望者に対して医師と連携した保健指導を行う。

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費の内訳						
		国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源
平成30年度決算額	3,360	0	3,360	0	0	0	0	0
平成31年度決算額	3,536	0	3,536	0	0	0	0	0
令和02年度決算額	2,052	0	2,052	0	0	0	0	0
令和03年度予算額	3,057	0	3,057	0	0	0	0	0

4. 総コストの概算

(単位：千円)

令和2年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	令和2年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.10	0.00	0.10	780	2,052	2,832
事業費の主な用途					

令和3年度 当初予算事業の概要説明書

(兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指 標 名					単 位	
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度		
	目 標 値						
	実 績 値						
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
活動 指標 ②	指 標 名					単 位	
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度		
	目 標 値						
	実 績 値						
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
成 果 指 標 ①	指 標 名	糖尿病性腎症重症化予防に係る保健指導への参加者				単 位	人
	説 明 や 数 式	糖尿病性腎症重症化予防に係る保健指導への参加者					
	年 度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度		
	目 標 値	10	10	15			
	実 績 値	9	9				
	経費(千円) 単位当たりのコスト	0	0				
成 果 指 標 ②	指 標 名					単 位	
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度		
	目 標 値						
	実 績 値						
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
実績・成果 等の説明	令和2年度は、114名の被保険者（糖尿病性腎症ステージⅡ及びⅢの者）に対し、保健指導の利用勧奨を行い、14名の被保険者から利用希望の回答があった。保健指導は委託により実施し、保健師又は管理栄養士が保健指導に従事した。利用希望者14名のうち、5名が初回面接前のアプローチで辞退し、9名が6か月の保健指導を修了した。						

6. 評価

1 次 評 価	評 価 ポイント	事業の優先度(緊急性) : 5	事業の必要性 : 4	実施主体の妥当性 : 3
	評 価 ポイント	直接のサービスの相手方 : 2	受益者負担の適切さ : 5	市民ニーズの把握 : 5
	事業の 総合評価	継続実施		
説 明	適切な医療への接続や生活習慣の改善により人工透析への阻止を図る必要がある。また、保健事業と連携により、運動習慣を促進し、重症化を予防に努めることが必要である。			
2 次 評 価	評 価 ポイント	事業の優先度(緊急性) : 5	事業の必要性 : 4	実施主体の妥当性 : 3
	評 価 ポイント	直接のサービスの相手方 : 2	受益者負担の適切さ : 5	市民ニーズの把握 : 5
	事業の 総合評価	改善・見直し		
説 明	人口透析の患者数や医療費が年々増加している現状を踏まえ、重症化予防の観点から事業の優先度と必要性は高い。重症化ハイリスク者が改善につながっている点は評価できる。一方、令和2年度において対象者114人に対して利用者が9人と実施率の低さが課題だと考える。今後、他の事業（健幸運動教室Ni-Co）との連携や、対象者の家族等を含めた重症化予防の意識向上など、保健指導の利用につながるよう検討されたい。また、市職員の業務負担の軽減のため、勧奨から保健指導まで一連の取組を委託するなど事業の効率化を検討されたい。			